

第23回「議員と語り合い」報告書

3班 (No.1)

開催日	平成29年 5月10日 (水) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	小浜地区公民館		
団体名	小浜地区	参加人員	22人 (男21人:女 1人)
出席議員	中馬 幹雄、前島 広紀、中村 正人、植山 利博、前川原 正人		
役割分担	班 長 (植山 利博) 副班長 (中馬 幹雄) 記録係 (前島 広紀)		
テーマ及び具体的な内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 国道10号小野浜バイパスの交通渋滞解消対策について 2 小浜里上踏切北の市道堀之内線の排水路対策について 3 市道石塚線付近のメガソーラー建設に伴う道路崩壊と排水対策について 4 市内の小・中学校の統廃合問題について 5 その他一般事項 		

意見交換での主な意見等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇4 項目の事前質問に対する、班長からの説明

1、国道10号小野浜バイパスの交通渋滞解消対策について

今年4月にしらさぎ橋が完成し、今後、それに接続して隼人中北から高専北を經由して北永野田小浜線に接続する道路建設が予定されていることから、今後さらに小野浜バイパスの混雑が懸念される。加治木ジャンクションへ接続する道路建設は、始良市との協議が必要であり、霧島市長は始良市と協議を行っており、推進を前向きに検討している。

2、里上踏切北の市道堀之内線の排水路対策について

南の線路の方向に暗渠を施工する計画を本年度にたて、来年の田植時期前までに施行する予定である。また、東側の水路については、泥上げなどの管理を地元でお願いしたい。

3、石塚線付近のメガソーラー建設に伴う道路崩壊と排水対策について

排水対策や水路の整備などについては、原因者である施工業者が対応すべきである。道路整備については、年次的に計画を立てて行いたい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

4、市内の小・中学校の統廃合問題について

3年前にも当地で説明会があり、絶対廃校にしてはならないとの意見であった。教育委員会としては、地元から廃校の要望がない限り、廃校にはしないとの方針である。

◆小野浜バイパスを加治木ジャンクションに接続するためには、市道を県道に格上げすればどうか。

◆トンネルをつくって加治木溝辺線につなぐと、かなりお金がかかることはわかるが、ゴールデンウィークの渋滞では、追突で死亡事故も発生している。事故防止の面からも、道路網整備を急いでほしい。

◇市として、そのような取り組みも検討しなければならないと思う。

◆市道石塚線付近のメガソーラー建設に伴い、相当な水量が流れ出てくる。下流には民家もあり、鉄砲水が心配。途中には、法面崩壊で水路がない部分もある。下流域まで水路の整備をしてほしい。

◆問題点を列記して、覚書のひな形を市に提出してある。

◇施工業者・地元・行政が関わって、覚書をつくり監視していく必要がある。

◆公営住宅があるが子供が1人もいない。若者人口を増やすにはどうしたらよいか。小浜は風光明媚で利便性もよい。小田に郵政関係の施設ができれば、働く人が増えると思われる。小浜に公営住宅を作る計画はないか。

◇現在のところそのような話は聞いていない。

◆まちづくり実施計画書に掲載したい事業があるが、自己資金が少ないため、地元負担がネックで思うように事業計画が立てられない。自治会の事業にもう少し市の補助金を増やせないか。(要望)

◆いきいきチケットについて、温泉券とバス券を支給されるが、自分の小牧地区はバスが通らない。タクシー券として使えないか。(要望)

◆民生委員に関心をもって理解を深めてほしい。民生委員が活動しやすい環境をつくる責務がある。(要望)

◆小浜入口交差点には、点滅信号があるのになかなか横断できない。どうにかしてほしい。(要望)